

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和6年2月29日

事業所名: サポートセンター ら・フロレゾン

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動内容により部屋を使い分けたり、室内のパーティションを開けたりする等、子どもたちが楽しく安全に取り組めるようにしています。 ・心理士による発達検査の際は、個室を使用する等し、個別で関わるスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・職員数は配置基準を満たしています。	・適時、心理士や専門性の高い外部職員等から助言をいただき、支援の参考にしています。 ・今後も丁寧な支援が提供できるよう努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・動線等が適切であるか、視覚支援等の作成も行いながら再検討する等、環境設定の工夫に努めています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日、活動前後の整理整頓、清掃を行っています。 ・定期的に危険箇所点検を行い、補修、改善に努めています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・活動前の打ち合わせや活動後の振り返りを行うほか、職員研修やケース会議の時間を確保し、支援方法の見直し等を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者等向け評価表にいただいた意見を踏まえながら改善しています。	・今回いただいた「保護者等向け評価表」については、事業所内で共有します。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページで公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・第三者による外部評価は未実施です。	・今後の実施は法人本部とも協議の上で検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			・月次研修の機会を設けています。 ・外部研修に参加し専門性の向上に努め、研修に参加した職員が報告会をし、研修内容の共有ができるようにしています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントとモニタリングを実施し、保護者との面談を行っています。お子様や保護者のニーズや課題に沿えるよう作成しています。 ・心理士による発達検査を行い、そこでいただいた助言等を支援に生かしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・保護者のニーズに合わせて、心理士による発達相談・発達検査を行っています。発達検査では、乳幼児発達スケール、S-M社会生活能力検査を行っています。検査後は面談も行い、発達段階について場合によっては園も含めて共有する機会を取っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・個別支援計画については、ガイドラインに沿って作成しています。作成に当たっては、よりよい内容になるよう、職員で話し合い等を行っています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・職員間で支援方法や情報を共有して支援しています。 ・ケース会議やモニタリングを行い、個別支援計画に沿って支援ができていないか、振り返りを行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・毎日指導案を作成しています。 ・毎月のスケジュールは、職員で話し合い、前月の活動の様子等も共有し、子どもの課題やニーズに合わせた内容になるよう立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・同じ活動であっても発達段階に応じて、内容を変更し、固定化しないようにしています。 ・今年度は、福祉館利用や電車の乗車ができる機会を作りました。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・自由遊びでは、個別で過ごせる活動、課題活動の集団活動は、他児との関わり方を学んだり、ルール遊びをしたり等、日課の中でそれぞれの時間が確保できるよう工夫しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼では、当日の活動の流れを確認し、職員のその日の役割分担などを話し合っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・その日の活動や子どもたちの様子の振り返りを行い、日案へ支援や活動内容の改善点を記入しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・利用の様子は、支援日誌やケース記録等に記録しています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・決まった期間にモニタリングを行い、個別支援会議を開催しています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・担当者会議には、児童発達支援管理責任者等が参加しています。会議後は、職員間での情報の共有に努めています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・南部保健センターで行われた子育て支援会議に参加しました。引き続き、連携できる関係作りに努めていきます。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・現在、医療的ケアが必要なお子様はおられません。	・利用される場合は、医師の指示等のもと、お子様が安全に通所できる環境作りに努めます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・現在、医療的ケアが必要なお子様はおられません。	・利用される場合は、医師や協力医療機関、関係機関と連携し、お子様が安全に通所できる環境作りに努めます。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・送迎時の引継ぎ等、情報共有に努めています。園等の見学機会、担当者会議を園や事業所で行う等、お子様の様子を見て相互理解が図られるようにしています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援ツールを活用し、就学先との情報共有に努めています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・児童発達支援センター主催の研修会と公開療育が開催され、参加しました。研修会や公開療育の内容は職員で共有し、支援に生かしています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・ほとんどのお子様が併行通園されていますので、特別な交流等は行っていません。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・参加の機会はないですが、協議内容等の確認を行っています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎時での利用状況のお話や、連絡帳を活用し、情報交換をさせていただいています。 ・面談の機会を設け、事業所だけではなく、自宅や保育園等で聞いているお話等、共通理解がとれるようにしています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・面談の機会や日々の連絡帳等、困り感がある保護者の方に対しては、個別にお子様の関わり方や対応方法について、対応を行っています。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明をさせていただいています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個別支援計画は説明を行い、同意を得た上で支援を行っています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・相談を受けた段階ですぐにお答えできるもの、他機関との連携も含めて行った方が良いもの等、最善な対応に努めています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・父母の会はありませんが、夏祭りやもちつき等の親子での行事参加を通し、保護者同士の関係作りが行えるようにしていきたいと考えています。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情については、第三者委員会を設置しております。ポスター掲示や利用契約時に説明をしております。 ・日頃の子育ての悩み等、個別のニーズにも対応し、必要に応じて相談支援専門員の方等とも連携を図りながら、お子様が安心できる環境作りを一緒に考えたいと思っています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・通信や広報誌を通し、活動内容等を発信しています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・契約時に同意書をいただいています。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・お子様とのコミュニケーションの手段としては、絵カード等、視覚支援も合わせながら行っています。 ・送迎時でのお話や、連絡帳を活用し、お子様の利用状況等が伝わるように努めています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・感染対策をした上で、家族交流の機会として、夏祭り、もちつきを実施しました。	・夏祭りやもちつきが、地域住民の方も参加できる行事にしていきたいと思っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルを作成し、それに応じた避難訓練を行っています。保護者が閲覧できるよう、玄関に設置しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難訓練は、定期的に行っています。消防立ち合いの訓練も年に2回、計画しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・利用契約時に聴き取りをさせていただいています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・利用契約時に聴き取りをさせていただいています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット報告書の作成にあたり、検証を行っています。職員間で共有しています。 ・福祉サービスリスクマネジメント研修会を行い、職員で日頃のヒヤリハット事例を出し合い、環境等を再検討しました。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部研修の参加に合わせ、法人内で人権侵害チェックリストの実施、人権侵害防止の書類への署名等を行い、虐待防止のための意識向上に努めています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束は行っていません。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)